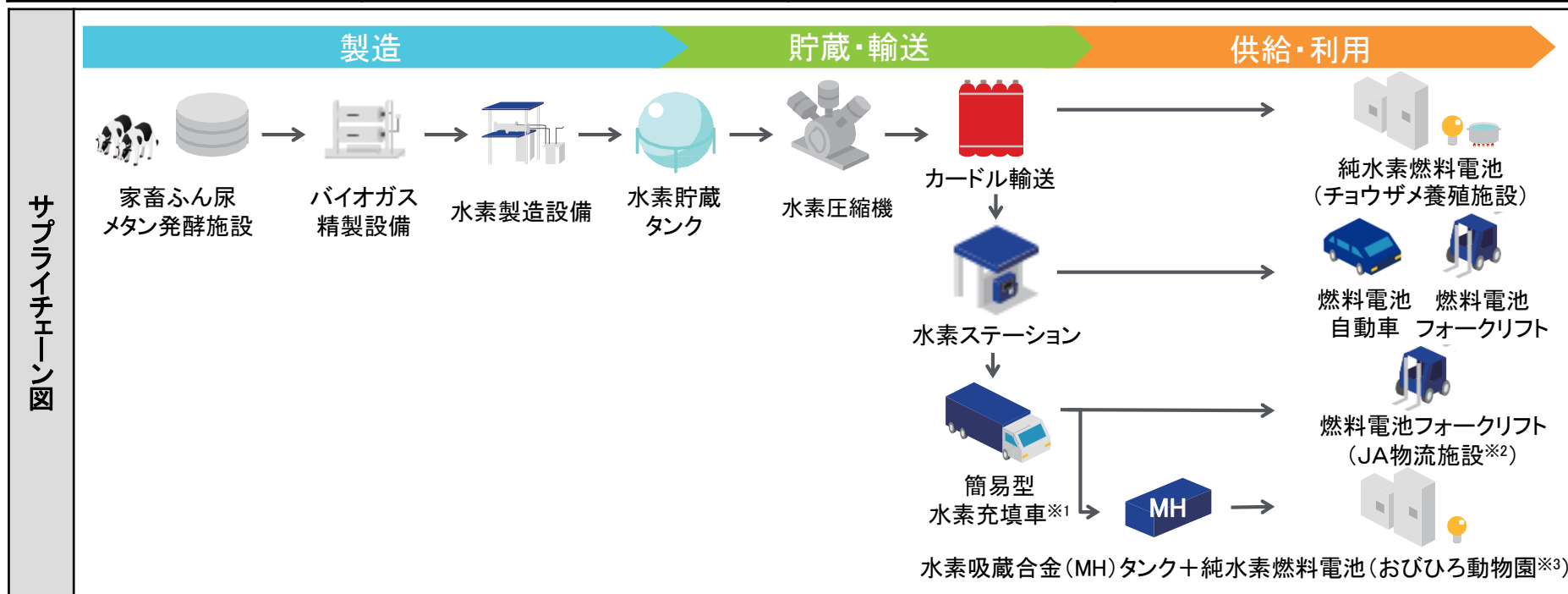


家畜ふん尿由来水素を活用した水素サプライチェーン実証事業 (北海道河東郡鹿追町及び帯広市、実施代表者:エア・ウォーター)

実証概要とサプライチェーン図

<p>概要</p>	<p>本事業は、地域内で発生する家畜ふん尿由来の水素を地域内で利用することで、化石燃料利用量を削減し、災害に強い分散型エネルギー事業を実現する地産地消型モデルを目指すものである。具体的には、北海道十勝地区(バイオマス産業都市)において、牛舎の家畜ふん尿をメタン発酵することで得られるバイオガスから水素を製造し、燃料電池による電気・熱供給とFCV・FCFL等へ利用するサプライチェーンモデルを実証するものである。令和2年度から、簡易型水素充填車の活用を開始し、おびひろ動物園に純水素燃料電池を併設した水素吸蔵合金(MH)タンクを設置した。</p>		
<p>事業場所</p>	<p>北海道河東郡鹿追町及び帯広市</p>	<p>事業期間</p>	<p>平成27年度～令和3年度(予定)</p>



※1 簡易型水素充填車の活用開始は令和2年度より、※2JA物流施設での簡易型水素充填車からフォークリフトへの供給は令和2年度より数次にわたり期間を限定し実施、

※3 おびひろ動物園の純水素燃料電池を併設した水素吸蔵合金タンク設置は令和2年度、なお、酪農施設、観光複合施設「とかちむら」への供給は平成31年度に運用終了

(エア・ウォーター実証事業資料より作成)